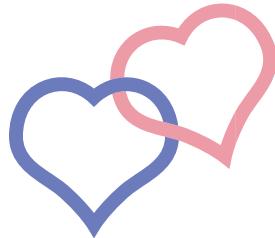


# おおさか

発行所：大阪府看護連盟  
〒536-0014  
大阪市城東区鶴野西2丁目5番25号  
ナーシングアート大阪  
電話 06-6964-5655  
FAX 06-6964-5665  
E-mail:a-inf@nihonkangorenmei-osaka.jp  
発行人：小阪佳代  
発行日：平成26年9月30日  
印刷所：株式会社ヒラックス

No.14-3(通-54)



## 残暑お見舞い申し上げます



法起寺のコスモス 花言葉「調和」Photo 小阪佳代氏

大阪府看護連盟会長あいさつ……………	2
退任のあいさつ……………	3
新役員あいさつ……………	4

新支部長あいさつ……………	5・6
研修会報告……………	7
お知らせ……………	8



## ～平成26年度総会を終えて 新たな気持ちで連盟活動開始を！～

大阪府看護連盟 会長 小阪 佳代

吹く風に涼感を覚え、虫の声が響く季節を迎えました。猛暑と異常気象に襲われた夏をやっと乗り越えましたが、会員の皆様お元気ですか。

日頃から連盟活動にご支援・ご協力を賜りまして感謝申し上げます。

平成26年度の総会が無事終了し、新たな心意気で次の活動目標に向けて歩み始めています。

その一つは、会員目標を10,000人に掲げました。「ベッドサイドから政治を変える」のキャッチフレーズで看護協会との連携を密にして進めています。また、年間研修計画を通して、会員・非会員を問わず参加して頂き、連盟活動の内容をご理解して頂いています。会員数の目標は、連盟活動の強化と第24回参議院選挙の得票数に直接影響します。25支部の役員の皆様には大変ご苦労を掛けいますが、なお一層お力を貸していただきたいと思います。幸い昨年より多くの方にご入会いただき、8月現在の会員数は7,891人となりました。会員の皆様にもさらなるご理解とご協力をお願ひいたします。また、「看護を考える地方議員の会」議員さんのお力添えは、私たちの連盟活動をより大きく前進させている根源になっています。各支部におかれましては私達の代表として惜しまぬ協力をお願ひいたします。

もう一つは、ご承知の通り、今年、大阪府看護連盟は創立55周年を迎えます。10月18日(土)に記念行事を計画しています。この55年間活躍されました多くの諸先輩方の地道な努力に心から感謝する記念行事です。そして、連盟活動の最大の意義は「私たちの代表を国政・地方議員」に送ることであり、その結果は「看護の環境がよくなる」ことを後輩たちに申し継いでいきたいと思います。多くの皆様に看護連盟の活動とその成果を知って頂く良い機会だと思い、皆様のご出席を頂きたく企画いたしました。私たちの役割として、先輩たちが残された思いを継続し、発展させてまいりましょう。

創立55周年記念誌を発刊いたします。是非、ご覧下さい。





## 退任のあいさつ

### ～大阪府看護連盟退任にあたり思うこと～

**前副会長 本山 裕子**

この度、副会長の任を辞することになりました。3年間の任期を全う出来ず2年間で退任することとなり、小阪会長はじめ役員の方々や会員の皆様方に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。短い期間ではありましたがその間の2013年7月の参議院選挙で看護連盟が組織的に応援した石田昌弘議員が皆様のご支援を戴き、見事に当選されたという、貴重な体験を通じて多くのことを学ばせていただきました。各施設の代表者の皆様には大変お世話になり大阪府の得票数は前回を上回りました。改めてお礼申し上げます。しかし、看護協会理事の方との面談や施設訪問を通じて、看護連盟の入会活動がまだ充分でなかったと反省しています。

看護職の課題の解決と高齢社会の医療・介護をより豊かにする政策は、本質的なところは関連しており、同時に解決できると確信いたします。

看護の未来を明るく国民の健康の向上に貢献できる仕組みを作るために団結していきたいものです。今年度は会員10,000人を目指して活動されています。どうか多くの会員を獲得して、より大阪府看護連盟が発展されるのを心より祈念いたします。



### ～連盟幹事の役割を終えて～

**前幹事 白川 美保子**



大阪府看護連盟に関わりを持たせていただいたのは、2002年(H14)、大阪府看護連盟の副会長でした。しかし当法人の新規事業の担当となり、一年間の任期であり、ご迷惑をおかけいたしました。

2005年(H17)に、当時の連盟会長より、幹事の一人として仕事をして貰いたいとのご依頼があり、前回ご迷惑をおかけしたこともあり、お役に立つのであればとお引き受けいたしましたが、会議の席で、財務担当と言うことを知り、今風であれば「ジェ!ジェ!」と言う感じでしょうか…?

9年間の財務に関しては、会長様を始め、幹事長様・会計担当事務員様のご指導の下、予算・決算等の財務担当としての任を果たすことが出来ましたが、やはり最後まで総会での会計報告は汗だくの状況に終わりました。

しかし、一方では、看護連盟の存在とその役割について学ぶ機会を得ることが出来た10年間であったと振り返っています。

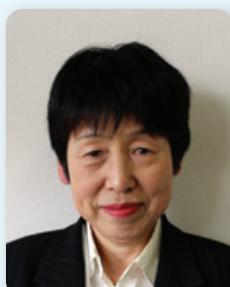
今後は微力ではありますが、連盟のお力になれる様ご支援できればと思っています。

今までの皆様の温かいご指導、ご助言心より感謝申し上げ、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈りいたします。



### ～看護を考える地方議員との連携を密に～

**前監事 南 孝美**



早いもので監事の任について6年の任期満了となりましたが、看護職の様々な問題解決には、看護連盟活動の推進以外にはないという気持ちが連盟活動を通して強くなっています。高齢化社会における医療・福祉の仕組みを考え、『人生を幸せに過ごす』基盤作りに参加するにはもっと学習が必要であると考えています。看護職のみならず大きな観点での政治の事を知り、知らせ、活動する。看護職の国会議員を増加させていくことは必須ですが、政治が地方へ移行していく中で、各都道府県及び市町村での議会を意識して連携をとることが更に高まっています。その意味では、看護を考える地方議員の会を中心に知って頂く活動が求められてきています。看護協会の中の政治意識の高い人が看護連盟であろうと思いますが、看護協会の会員の中に活動を広げていくことが今一番の大きな課題でもあります。今回で、府の役員は退任しますが、泉南支部長として継続し役員を務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。



## ～「看護のやりがい」を実感できるよう連盟の重要性を伝える活動を～

副会長 石藏 はづひ



この度、副会長という重責を担わせて頂くことになりました。

看護の質の向上のためには、働く看復職の環境づくりをはじめとして、教育の質向上のための問題解決等が必要であり、そのためには組織的な取り組みこそが第一であると、臨床での看護管理場面や教育現場の関わりの中で痛感してきました。

保健・医療・福祉の質の向上のために、現場で働く看復職一人一人が「看護のやりがい」を実感できるよう、一つ一つの問題を整理しつつ適確に問題解決をしていくことだと考えています。

そのためには連盟の重要性を、看護職の人たち、そして地域住民の方々にも伝えたいと思っています。会員の皆様のご協力ご支援を頂きながら、微力ではありますが一生懸命頑張ってまいります。

## ～「ベッドサイドから政治を変える」ことを実現する大切な存在～

財政担当幹事 森 弓子



この度、財政担当幹事となり皆様方の会費で活動の予算化を担当致します。つまり、会員数の如何で豊かな財政の下活動出来るか否かが決まります。既に総会で今年は1万人会員の確保を目標に掲げています。残す2000人以上の新会員を獲得目指し、日常的には各支部長さんをはじめ施設代表の方々が活躍されています。

看護連盟は、「看護業務に関する問題」を行政へ働き掛ける為に存在する組織団体です。私同様、看護連盟の全体像が判らず抵抗感のある方もいるのではないでしょうか。しかし、看護関連の問題を身近に感じ施設内、もちろん個人でも解決できなくて悩んでいる事柄は沢山あります。

法律の縛りに苦悩する看護管理者の方々は、国つまり「政治的に変えなければ」という原理は分かっていて、その進め方の術にもどかしいのが本音なのだろうと思います。

幹事の引き継ぎを終え、連盟は「ベッドサイドから政治を変える」ことを実現する為に大切な存在と素直に感じ抵抗感は払拭されました。

ナイチンゲールの言葉を借りると、看護を真の確立に導く為に、看護管理の機能は内臓の機能である（看護協会や看護連盟の機能は脳の機能であり、支部の機能は骨格や筋肉の機能）そして、社会を動かす事が終局の（看護の）責任であり法則と述べています。

看護管理者並びに看護を実践している方々是非、会員となりその法則に乗って血管或いは神経や細胞一体の機能としてお力添え下さい。

## ～看護連盟会員を増やし、国会に一人でも多くの議員を送る～

監事 宇野 才子

6月26日に開催された大阪府看護連盟通常総会の席において監事という大役を承認していただきました宇野才子と申します。

今年は看護連盟創立55年目を迎える大きな節目の年でもあります。この私が看護連盟でどのような役目を果たしたら良いのか戸惑いと不安でいっぱいですが、お受けした以上は連盟のお役に立てるよう誠心誠意努力致します。

51年度創立16年目の総会で「本連盟は看護職能の発展と向上のためあらゆる政治活動を行い、合わせて国民の健康と福祉に寄与することを目的とする」と規約改正し連盟は政治団体としての独自性を示した、とされております。

連盟は「ベッドサイドから政治を変える」と今年度もスローガンを掲げています。看護職が働き続けるための環境改善等、時代のニーズ、社会のニーズに合った看護政策を看護の実践現場から積極的に提案を受けて看護職の国会議員の力で立法化をして頂きたいのです。国会にはできるだけ多くの議員を送るために看護連盟会員を増やし、選挙で投票するよう支援します。また大阪府看護連盟会員数10000名を目指に掲げています。来年は選挙の年ですので、一人でも多く会員になっていただけるよう支部長と共に施設訪問に伺う予定にしています。そのときは、皆様の入会協力と選挙協力をよろしくお願ひ致します。





## 新支部長あいさつ



～基礎研修で  
職員の意識向上に  
努める～

千里中央支部長  
前田 千保子

千里中央支部長を務めることになりましたが、法人内異動で前病院支部にて2年間支部長の経験があります。

働きやすい職場環境作りは一病院ではできません。やはり組織立った活動が必要です。看護師を取り巻く環境の変化や人材確保の困難等々、問題が山積ですか職能団体の地位や待遇改善への働きかけは絶え間ない行動だと思います。自院においての支部長としては基礎研修を丁寧に行い職員の意識の向上に努めたいと考えます。

新支部長としてより連盟活動を行うにあたり会員の意識を一つにすることは過去の経験からも努力を要することでした。個人の意識を上げないことには組織立てた行動に繋がりません。今、社会はめまぐるしく変化しています。私たち職能団体として何をするのか。何をしなければならないのか。連盟の指導の下、支部活動を盛り上げていきたいと考えます。



～国政に現場の声を  
届けられる議員を  
一人でも多く輩出～

協和会支部長  
津村 輝恵

今回、協和会支部の支部長に就任させていただきました。当院に就職した時に看護連盟に加入しましたが、実際の連盟活動にはあまり参加したことなく、昨年から幹事となりましたことで連盟での活動内容など深く知る事ができました。

今年度は日本看護連盟通常総会にも参加させていただき、議員の方々の熱い思いを肌で感じることができました。また55年という歩みを知り、多くの先輩方のご苦労あって今の環境がある事を知ることができました。実際の現場では政治と看護の関係を意識することは少ないですが、私たちの環境を知ってもらい、政策活動に反映させてもらうためにも現場の声を届けられる議員を一人でも多く輩出することが必要だと感じます。施設支部としての活動はかぎりますが、施設支部だからこそ団結した活動ができるとも感じています。少しでも看護が活性化するため邁進していきたいと思います。よろしくお願ひします。



～連盟活動を広げ  
会員増を！～

池田病院支部長  
金沢 純子

初めまして、池田病院支部の支部長になりました金沢です。宜しくお願ひ致します。

昨年は看護連盟が一丸となって、石田まさひろ先生を国会に看護の代表として送り出すことが出来ました。改めて看護連盟の力強さを感じました。

支部としては、府連盟との連携を密にし、研修活動を積極的に行い一人でも多くの会員を増やし、連盟役員の皆様のご指導の下、連盟活動を幅広く広げていきたいと思っています。又、看護を考える地方議員の会とも連携をとり活動をしていきたいと思っています。まだまだ微力な病院支部ではありますが、看護連盟のスローガンであります「ベッドサイドから政治を変える」を基に、支部としては出来る限りの活動を行っていきたいと思います。今後とも宜しくお願ひ致します。



～看護職の代表と共に  
力の結集を!!～

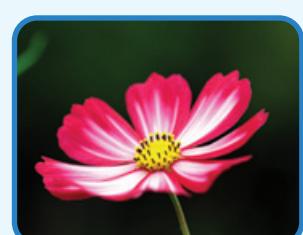
堺ベル支部長  
佐藤 郁子

このたび、堺ベル支部の支部長になりました佐藤です。

新林前支部長から大役を引き継ぎ、身の引き締まる思いです。

堺ベル支部は施設支部ですのでたくさんの会員がいます。しかし、「政治のことは興味がない」「選挙には行かない」等々…巷にいわれる若者の政治離れは当支部にもいえることであると考えています。私たち看護職が自信を持って、安全で質の高い看護を患者さんに提供していくためには看護職の国会議員の存在は不可欠です。

『ベッドサイドから政治を変える!』というスローガンのもと、力を結集して看護職の代表を国会へ押し上げるために、堺ベル支部として微力ながら活動を行っていきたいと考えておりますので今後ともご指導よろしくお願ひ致します。




**新支部長あいさつ**


## ～看護と政治力の必要性を深める活動を！～

**市西支部長 山畠 恭子**



この度、市西支部長という大役を担うこととなりとても重責を感じております。

各支部長さんの活躍ぶりを拝見しておりますと、私自身貢献できますか、不慣れな事ばかりで不安を感じております。しかし乍ら周囲の方々の助言等に耳を傾け一生懸命取り組んで参りたいと思っています。

諸先輩の皆様方の働きによって看護を取り巻く環境も大変良くなっています。看護師の地位の確保や労働環境の改善、超高齢化社会、少子化問題等々医療、看護、介護の依存度は高くなっています。患者様や利用者様のニーズに応えるべき安全、安楽な看護を提供していくためにも政治力が必要になって来ます。看護協会掲げる政策を実現する為に連盟から送り出す国会議員の先生方に頑張ってもらわねばなりません。

政治は自分たちには関係ないと「よそらごと」と思うのではなく、現場環境、労働条件、看護の質の向上等々多くの課題の解決のためには、政治力が必要である事を一人でも多くの会員の方々に理解していただき、会員を増やす事により組織強化を図ることになると思います。「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに尽力して参りたいと思います。

## ～連盟活動の歴史を絶やさず邁進～

**錦秀会支部長 植本 八代**



この度、大阪府看護連盟錦秀会支部の支部長という大役を仰せつかりました。

看護連盟については、本院が施設支部を立ち上げる数年前から施設連絡員として関わらせて頂いていたこともあります。看護師の待遇や働く現場の改善のために必要な機関であるということは理解していました。施設支部で役員をさせて頂くようになり、看護職の労働環境や夜勤手当など報酬の改善や保育所の設置など、先輩方が半世紀に渡って私たち後輩のためにご尽力くださったことを改めて確認し、日本の福祉や高齢者社会を担う看護職の大きな役割を全うさせるために、必要不可欠であること、また、この活動の歴史は決して絶やしてはいけないことを強く感じています。

支部長として、看護職員に連盟の活動を理解してもらい協力を得られるような働きができるかという不安はありますが、前任の時本看護部長の強い思いを受け継ぎ、微力ながら邁進してまいります。

## ～誇りを持って働き続ける環境作りを！～

**府南支部長 大西 晴江**



このたび、府南支部の支部長を務めさせていただくことになりました。

7月より役員会に参加させていただき、支部長としての活動を開始しましたが、連盟の会員歴20と2年なのに、こんなにも連盟の活動がわかっていないかったのかと反省しております。患者様によりよい看護が提供できるよう、私たち看護職が誇りをもって働き続けられる環境を作るためには、看護連盟の活動が不可欠ということもこの数ヶ月で実感しました。そのことを、私たち役員がリーダーシップをとり、わかりやすく、根気強く伝えていかなければいけないと思い、その責任の重さを感じています。

わからない事ばかりですが、自分に学ぶ機会を与えてもらった支部長という役割に前向きに取り組みたいと思います。連盟活動を通して、他施設の方と情報交換できることも楽しみにしながら努力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 研修会報告

トップセミナー 平成26年5月31日(土)  
 テーマ「チーム医療の変革とリーダーシップ」  
 講師:札幌私立大学院 看護学研究科 客員教授 松下博宣先生

「チーム医療を効果的に進めるために  
 看護は何をすべきか」のワークショップから  
 ~ポジティブマインドを意識し、管理に生かす~



市立堺病院 千葉 鐘子

今回の講演は興味深く楽しみにしていたので大変良い気づきを与えていただきました。私達管理者は長年にわたり、理想的なリーダー像を描きながら、時代の状況にも対応できるようなリーダーシップへ努力しているところです。医療が高度化し複雑で多様化する臨床においては、人材育成を重要課題にしながら、働き続けられる職場環境づくりへの取り組みもすすめています。そのような中、講演の機会で学んだ視点を少しだけ紹介します。

これからより良いリーダーシップは、ポジティブマインドであると言われています。ポジティブな感情を豊かにする為には、「歓び」、「感謝」、「希望」など10のポジティブな感情から何かを認知することから始まります。そのポジティブな感情をもつことは、知性を磨き、身体能力を培い、新たな思考や教育を受け入れる柔軟性がもて、危機に直面した時は、勇気をふるい起こさせます。視野の広がりや創造力・交渉力の向上など管理に繋がっていくといわれています。又、健康的になる相乗作用もあります。

これから管理者はポジティブマインドを意識して、活性化を図ることが重要だと感じています。看護を取り巻く環境の変化は厳しさを増すばかりですが、管理者もスタッフも、楽しく前向きに育ち合う組織をめざしていきたいと思っています。

師長・主任クラス看護職者研修 平成26年7月21日(土)

テーマ「看護管理者として学ぶ力」

講師:甲南女子大学 看護リハビリテーション学科 教授 青山 ヒフミ先生

～日常生活からの情報収集、  
 分析の過程が柔軟な学びへ～

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 武藤 久美

今回の研修「看護管理者として学ぶ力」はテーマから連想されるような堅苦しさではなく、講義の「柔軟な学び」は、講師である青山先生の体験談を交えた内容で、講義の後にはフリートークの時間もある参加型の楽しい研修でした。

看護は生活に密着しており、日常生活から情報を収集し、知り得た情報を忘れないよう、情報を知識として整理していくことが必要です。この過程が「柔軟な学び」となり、看護管理の視点に繋がっていくことが講義から理解できました。

各自の学び方をテーマにしたフリートークでは、「テレビ番組の解説から社会の情勢を知る」「積極的に看護職以外の友人と交流を持つ」などの意見が紹介されました。その中には、それならやっているかも…と、感じられるような意見もありました。「テレビを見る」「友人と話す」といった日常の行為も、意味を考えれば、看護以外の社会情勢に疎くなることを危惧した学びとなることに共感できました。

日常生活から得られる情報は多く、机に向かう正当な方法では得られない学びがあります。自分の学び方を模索し、現場で生じる問題や課題に対応できる広い視野と柔軟な思考能力を得る必要性を、今回の研修で再確認できました。

～日々学ぶ事の大切さを実感～

大阪医科大学付属病院 森本 明日香



大阪府看護連盟の研修「看護管理者として学ぶ力」を受講しました。「看護管理者として学び続ける意味を理解できる」をねらいとした研修でした。甲南女子大学の青山ヒフミ先生の経験談をもとに講義をしていただいたので、とても分かりやすく興味を持って講義に参加できました。

まず、自分が働く意味を探求し続けること、そして、経験を蓄積し統合すること。そのなかで、私だからできること、私にできることをできる方法で実践していくこと。また、自分の個性やその場の状況を生かした多様な学び方があるので、学び続けるための自分のスタイルを見つけることが大事だと話されていました。

看護主任になり9年目を迎ますが、日々学ぶことの大切さを改めて実感しました。仕事・日常生活・他人などいろいろな場面から学ぶことができます。柔軟な学び方ができるように自分の学ぶスタイルを見つけたいと思います。そして、「学び続けることが今の自分を支えてくることにつながる」という先生の言葉を胸に、励んでいこうと思います。





## 1.平成26年度 日本看護連盟通常総会

6月3日（火）12:30～15:00

於：東京プリンスホテル

大阪府看護連盟より59名（代議員、役員、一般会員）  
が参加した。

### [審議事項]

第1号議案～第6号議案まで、原案通り可決された。  
名誉会員・福島多美江、島井美喜（敬称略）2名が推薦された。  
国政報告会、創立55周年記念式典と続く。

創立55周年記念受賞者（敬称略）

- 功労賞贈呈者 南野知恵子（1名）

- 会員表彰贈呈者（205名）

大阪府8名

前川マキコ 岩元尹子 横口富枝 松本益美

城戸満江 田中睦子 中川益枝 高森勝子

- 永年勤続表彰贈呈者（10名）

- 感謝状贈呈者（20名）

が受賞された。



## 2.平成26年度 大阪府看護連盟通常総会

6月26日（木）14:00～17:00

於：ナーシングアート大阪 レモンホール

出席者 会員274名、役員37名、委任状6385名

### [第一部]

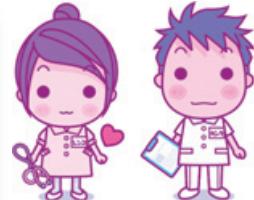
審議事項、第1号議案～第5号議案まで、原案通り承認された。

### [第二部]

自由民主党大阪府支部連合会、大阪府看護連盟支部報告。

### [第三部]

前会長 清水嘉与子先生の講演会で終了。



日本看護連盟のキャラクターです。  
(レンコとカンタ)



### 看護の夢を実現させるのはあなたです！ 現場の声を国政に反映させましょう

年会費 8,000円

賛助会員 1,000円

学生会員 無料

日本看護連盟  
5,000円

大阪府  
看護連盟  
3,000円

平成26年度の会員入会を受け付けております

平成26年度目標会員数 10,000名



### 編=集=後=記

残暑お見舞い申し上げます。

今年は天候が不安定で8月に入り台風11号が全国に大きな被害をもたらし、続いて同月20日には、広島市に土砂災害で不幸にも多くの死者、行方不明者が出了ました。

残念でなりません。心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。

総会も無事終了し26年度が始まりました。会員数も皆様のご努力により少しずつ増員しております。今年度も皆様と共に目標達成に向かって頑張りましょう！

今号は新役員の紹介とご挨拶を主に掲載し7月より活動しています。今後も多くのご意見、ご感想を発していただければ幸いです。

Y・Y



時代に、あなたに、  
ちゃんと応える医療保険です。

**NEW**  
ちゃんと応える  
医療保険  
*EVER*

**NEW**  
ちゃんと応える  
医療保険  
*Lady's EVER*

日帰り入院でも  
一律5日分保障

\*一定期間内に再入院した場合の入院給付金の  
お支払いについてはパンフレット(契約概要)をご確認ください。

入院前後の  
通院も保障。

女性特有の病気で  
入院した場合  
上乗せして保障。

(レディース EVERの場合)

商品の詳細はパンフレット(契約概要)をご覧ください。

■引受保険会社

**Aflac** アフラック  
(アメリカンファミリー生命保険会社)

近畿法人営業部

〒530-0057 大阪市北区曾根崎2-3-5 梅新第一生命ビル6F

Tel.06-6206-3607 Fax.06-6312-9963

AF020-2013-0818 11月21日(151121)

株式会社トータル保険サービス  
大阪支社

〒530-0003 大阪市北区曾根崎1丁目5-17(堂島グランドビル7F)

TEL.0120-06-5901